

電子ロック手提金庫〈FL型〉

取扱説明書

PLUS

このたびは、プラス電子ロック手提金庫をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

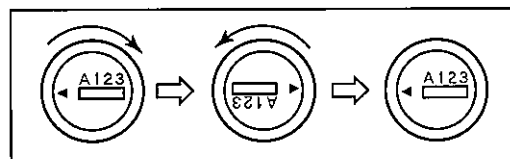
⚠ 注意

- 手提金庫は一時的な保管庫としてご使用下さい。
収納されたものが万一盗難にあっても、当社ではその責任を一切負えませんのであらかじめご了承ください。
- 不用意に本体を持ち上げないでください。（取っ手をしっかりと持たずに持ち上げると思わぬケガをすることがあります。）

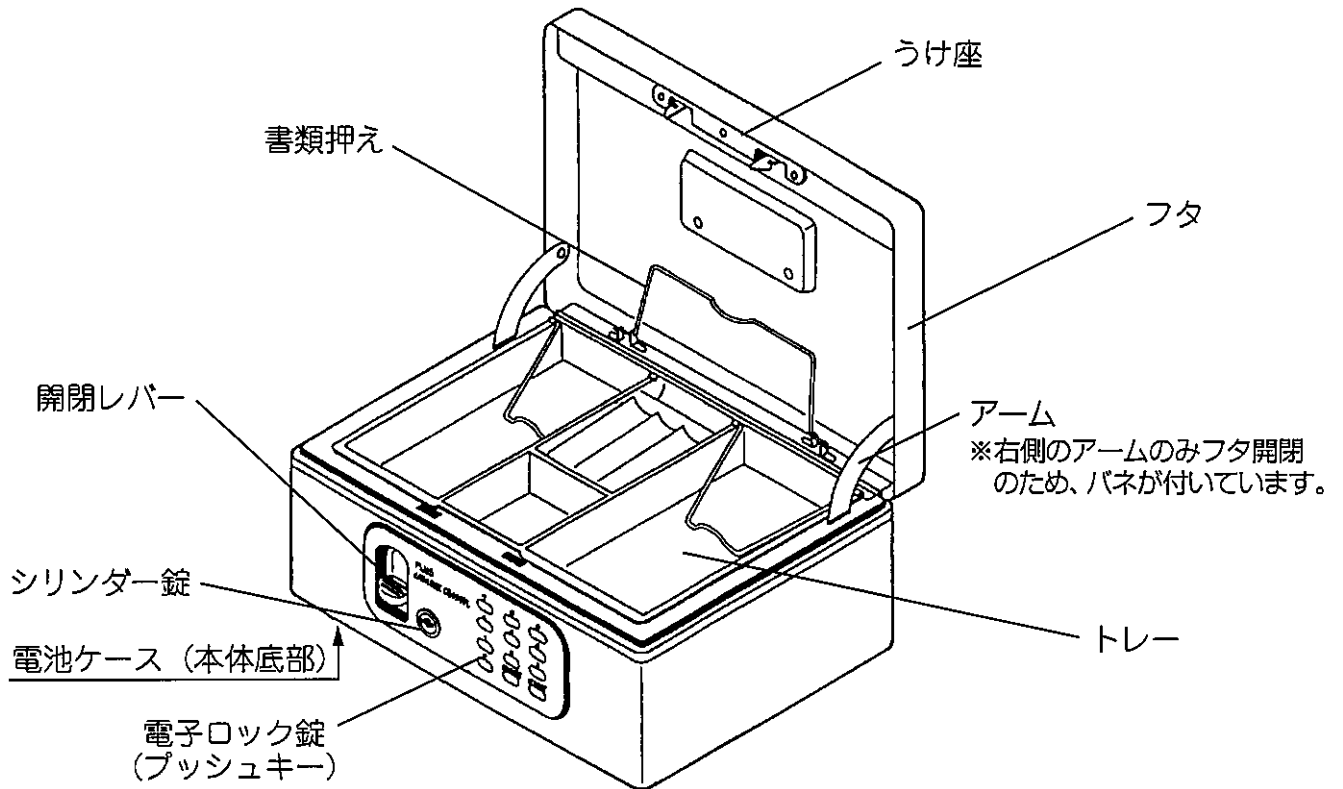
- フタや取っ手に無理がかかるような重いものを入れないでください。
変形による故障、落下によるケガ等の原因となります。
- 電池は正しく入れてください。電子部品が壊れる場合があります。
- 水をかけたり、湿度の高い場所（屋外や浴室）ほこりの多い場所でのご使用はおやめください。
- 車の中、ストーブのそばなど高温になる場所でのご使用はおやめください。
- 電池の液もれがおきたときは、液をきれいにふきとってください。
- 絶対に分解しないでください。

ご使用になる前に

- ① 合鍵は必ず金庫の外に出して、大切に保管してください。
- ② 暗証番号は忘れないように、手帳などに必ずお控えください。
(ご使用になるまえに、この取扱説明書に従って必ずご自分の暗証番号の登録をしてからご使用ください。)
- ③ お買い求めいただいた時点で、開閉レバーを押し下げてもフタが開かない場合は、付属の鍵をシリンダー錠の鍵穴に差し込んで、図のように回してから開閉レバーを押し下げてフタを開けてください。
- ④ 付属の電池がお客様に届く間に自然に消耗していることがあります。新品の電池の場合の電池寿命は、約1年を目安としておりますが、それ以前に電池切れとなる可能性もありますので、なるべく早めにアルカリ電池に交換してください。



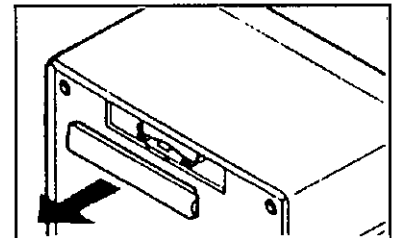
各部名称



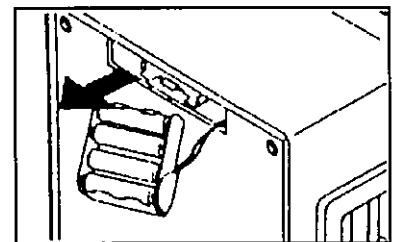
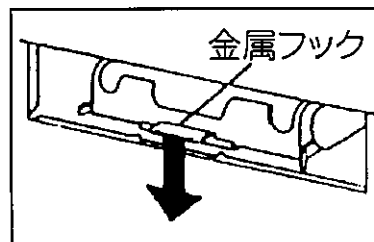
ご使用前の準備

1. 電池の入れ方

- ① 本体底部の電池ケースのフタをはずしてください。
かたい場合は、マイナスドライバーなどをご使用ください。



- ② 電池ホルダーを取り出してください。
金属フックを押してプラスチック製の電池ホルダーを引き出します。



- ③ 電池 (単3乾電池4本) を電池ホルダーに⊕、⊖表示に合わせて入れてください。
④ 電池ホルダーを本体に確実に入れて電池ケースのフタをしてください。

ご注意



- 電池ホルダーはリード線で本体につながっていますので無理に引っぱらないでください。断線の原因になります。
- 電池の⊕⊖の方向をまちがえすと電子部品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。電池はなるべくアルカリ乾電池をご使用ください。

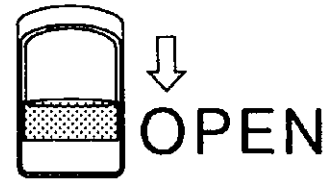
*電池交換についてのご注意

- 電池は1年を目安に交換してください。
- 交換する場合は単3乾電池4本を1度に交換してください。
- 電池交換は10分以内に終了するようにしてください。電池をはずした状態で放置しますと、暗証番号が消えてしまいますので特にご注意ください。
- 電池交換の最中にプッシュキーを押さないでください。暗証番号が消える場合があります。
- 万一、暗証番号が消えた場合に備えて、電子ロック錠が解錠の状態ですぐ電池交換してください。
- 電池の⊕、⊖は間違えないようにご注意ください。

2. 暗証番号の登録のしかた

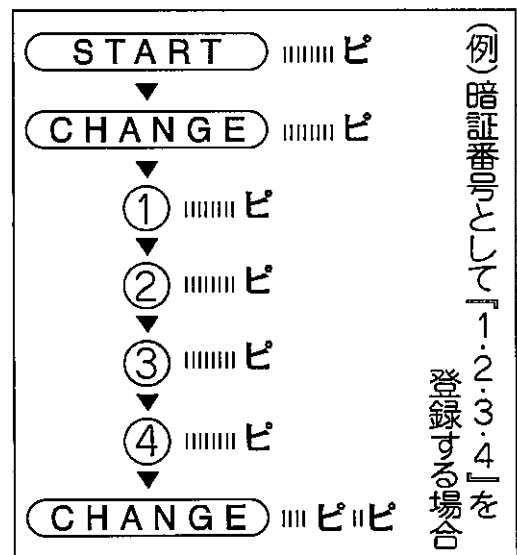
ご自分で好きな番号を1桁から8桁まで、暗証番号として登録してください。登録した番号を入力することにより電子ロック錠が解錠できるようになります。

- ①電池が正しく入っていることを確認してください。
- ②開閉レバーを押し下げてフタを開けてください。
フタを開けた状態にしておきませんと、暗証番号の登録ができません。
- ③暗証番号を決めます。
暗証番号は1桁から8桁の任意の数が登録できます。登録する番号が決まりましたら、手帳などに必ず控えてください。
- ④暗証番号を登録します。
登録は前面のプッシュキーを押して行います。下の手順で確実に行ってください。



- ①「START」キーを1回押します。
- ②「CHANGE」キーを1回押します。
- ③数字キーで任意の暗証番号
(0から9の数字で1桁から8桁)を入力します。
- ④「CHANGE」キーを1回押します。

※途中でキーを押しまちがえた場合は①からやり直してください。
最後に「CHANGE」キーを押した時に電子音が2回鳴りますと正しく登録されたという合図です。



- ⑤暗証番号が正しく登録されたか確認します。

- ①フタは開けたままにしてください。
- ②開閉レバーを押し上げて電子ロック錠を施錠状態にしてください。開閉レバーが下げられなくなりましたら電子ロック錠が施錠された状態です。
- ③暗証番号を入力します。まず、「START」キーを押してから、数字キーで登録した暗証番号を入力します。(電子音が2回鳴ります。)
- ④開閉レバーを押し下げられるか確認してください。開閉レバーが押し下げられましたら、正しく登録されていますので、今後この番号で電子ロック錠の解錠ができます。開閉レバーが押し下げられない場合は、暗証番号が正しく登録されておきませんので、もう一度はじめから登録しなおしてください。

ご注意



- 暗証番号を忘れずと電子ロック錠が解錠できなくなりますのでご注意ください。
- フタを閉めた状態では「CHANGE」キーは発信しません。したがって暗証番号の入力はできません。
- 各プッシュキーの操作は、10秒以内に次のキーを押してください。10秒以上間隔をあけますと電流が中断しますので(プッシュキーを押しても電子音が鳴らなくなります)その場合は、はじめからやり直してください。

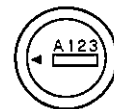
以上でご使用前の準備は終わりです。

ご使用方法

1. 施錠の方法

シリンダー錠の鍵穴の◀印が右図の場合にご使用できます。

- ①フタを閉めた状態で開閉レバーを上押ししてください。
- ②開閉レバーを押し下げられなくなりましたら、電子ロック錠がかかった状態です。



ご注意



暗証NO.登録前にフタが開いている状態で、施錠の操作をしてフタを閉めると、錠がかかってしまいます。この時、金庫の中に鍵を入れたままですと開けられなくなりますのでご注意ください。

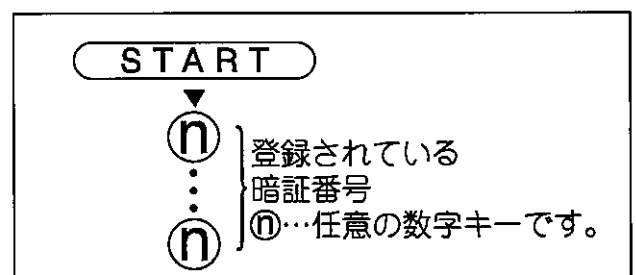
ご注意



シリンダー錠の◀印及び数字が、
Ⓢ(下向き)の場合は施錠できません。
Ⓢ(上向き)に直してください。

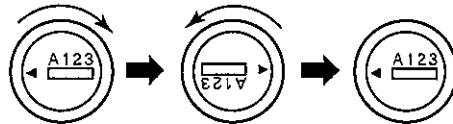
2. 解錠の方法

前面のプッシュキーから暗証番号を押して、電子ロック錠を解錠します。



●非常開錠

登録した暗証番号を忘れてしまったとき、あるいは暗証番号を押しても、最後の番号で発信音が1回しか鳴らず開錠できない場合、又は電池交換しても発信音が全くなくなってしまう場合等のときは、付属の鍵を鍵穴に差し込んで、図のように回して開錠してください。

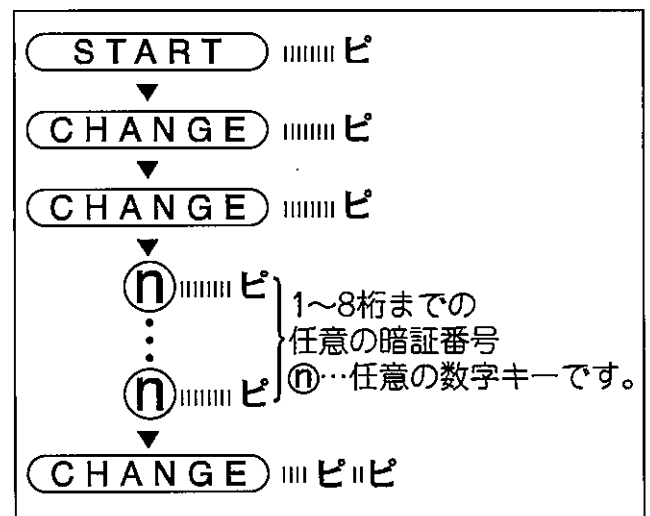


3.暗証番号の登録・変更

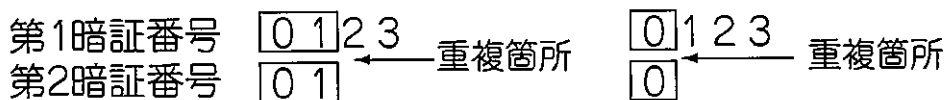
- 暗証番号は、ご自分の好きな番号を1桁～8桁の範囲で登録することができます。また、必要に応じて変更することができます。はじめて登録する場合も、変更する場合も手順は同じです。
- 手順は、「ご使用前の準備」の「2.暗証番号の登録」の項をご参照ください。

4.第2暗証番号について

この手提金庫は、今まで説明した暗証番号(第1暗証番号)の他に、もう一つ暗証番号を登録することができます。必要に応じてお使いください。
第2暗証番号は、「ご使用前の準備」の「2.暗証番号の登録」の「④暗証番号を登録します」のところの手順を次のようにかえて行ないます。



第1暗証番号と第2暗証番号の両方を登録しますと、どちらの番号でも電子ロックの解錠ができます。



このように、第1暗証番号と第2暗証番号の最初の番号が重複しておりますと、短い方の番号で電子ロック錠が解錠されてしまいますので、ご注意ください。第2暗証番号をお使いになる場合は第1暗証番号の頭の数字と違う数字を頭にするをおすすめします。

この様な場合は……

●正しい暗証番号を押しても電子ロック錠が解錠できない場合

電池切れの可能性があります。

新しい電池に入れかえて、もう一度はじめからやり直してください。

ご注意 電池交換は10分以内に終わるようにしてください。無電源で放置しておきますと登録されている暗証番号が消えて解錠できなくなりますのでご注意ください。

●暗証番号が登録できない場合

フタがしまったままですと、登録できません。フタを完全に開ききった状態で登録してください。

※不完全な開閉位置ですと登録できません。

仕様書

品番	電子ロック手提金庫 CB-020FL	電子ロック手提金庫 CB-030FL
外寸	W361×D266×H139mm	W323×D238×H123mm
内寸	W298×D212×H104mm(トレイ内蔵時:H71mm)	W259×D184×H94mm(トレイ内蔵時:H64mm)
重量	3.9kg	3.2kg
電源	単3乾電池4本 6V直流	
主材	本体 鋼板	内筒・前面パネル ABS樹脂 中箱 PS樹脂
塗装	メラミン樹脂焼付塗装	

保証規定

1. 説明書の記載内容に従って正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ後、1カ年間は無償にて修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、本品に本証を添付し、お買い上げ店にご持参またはご郵送下さい。ただし、ご持参・お持ち帰りの場合の交通費、またはご郵送いただく場合の諸掛りはお客様のご負担となります。尚、故障の内容によりましては、修理にかえて同等製品と交換させていただくことがあります。
3. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
 - ロ. 落された場合の故障・損傷
 - ハ. 火災・公害および地震・風水害その他の天災地変など、外部に要因がある場合の故障・損傷
 - ニ. 電池の液もれによる故障・損傷
 - ホ. 本証の提示のない場合、およびお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
4. 本証は日本国内においてのみ、有効です。また、本証の再発行はいたしませんので、大切に保管下さい。
* この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お問い合わせ先

プラスステーションリー株式会社

この商品についてのお問い合わせは、 0120-00-0007
お問い合わせセンターまで

PLUS Stationery Corporation MADE IN CHINA

ホームページアドレス <http://bungu.plus.co.jp>

※品質改善のために、予告なく仕様等の変更を行なう場合がございます。予めご了承ください。